

2014年3月19日

秦野市長 古谷 義幸 殿

渋沢丘陵を考える会
代表 日置 乃武子

秦野市生物多様性地域連携保全活動計画と渋沢墓園造成事業について

先般パブリック・コメントの募集が実施された標記の秦野市生物多様性地域連携保全活動計画（案）の内容と、渋沢墓園造成事業を許可しようとする考え方は、一つの市として到底納得し難い矛盾する姿勢です。

つきましては、その内容につきまして、以下の質問について回答いただきますようお願いいたします。

1. 甚大な里山の環境破壊をもたらす墓園開設計画との整合性について

基本的な考え方を「里地里山を活用した地域づくり」とし、里地里山を積極的に取り入れたライフスタイル、地域社会を確立する、とありますが、こうした考え方に立った時、環境省の「里地里山保全再生モデル事業」の全国4地域の1つとして指定されており、なおかつ、神奈川県によって実施された地域環境評価によって最高ランクの **A1** に位置づけられ、そのままの姿で維持、保全されるべきとされた八国見山南面に、20ha、15,000区画もの霊園開設を許すことは、右で殴って左で摩るとでもいうべき矛盾そのものであり、自治体として到底許されることではありません。この点について、論理的に整合性のある説明をしてください。

2. 環境都市秦野のスタンスについて

里地里山を積極的に活用する生活様式を環境都市秦野の“売り”にしようということが読み取れますが、多くの市民に愛されている、オオタカやノスリが舞い、オオムラサキやゼフィルスが生息し、私たち市民にとって最も価値が高い里山と思われる八国見山南面に、20ha、15,000区画もの大規模霊園開設を許可しようとするとは、市のスタンスは奈辺にあるのか、市民として大いに理解に苦しむところです。この点について、私たちにも理解ができるよう、論理的な説明をお願いいたします。

本件の連絡先は次の通りです。

〒257-0012 秦野市西大竹 302-11 鈴木和郎 Tel・fax 0463-81-9109